

1 国（文科省）の方針

「生きる力」「確かな学力」
「育成すべき資質・能力」を育む

2 静岡県の方針

「有徳の人」の育成
社会総がかりで取り組む教育

3 御前崎市の方針

「郷土を愛し、未来をつくる子」
①高い志や夢を持って生きる子②学び続ける子
③他者と豊かに関わる子④社会と関わって育つ子



学校経営方針 安心安全 人権尊重

学校経営目標 5つの「きょういく」
今日育 教育 共育 郷育（環）境育

学校教育目標 「自ら学ぶ人」



保護者・地域の願い ・安心安全で楽しく通う学校 ・確かな学力の定着 ・思いやりなど人間関係の醸成 ・自ら行動する主体性の育成 ・地域の活性化	重点目標 気づき 考え 自分から行動する子 ↓ かかやきいっぱい	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	達成目標		
		学期	1 学 期					2 学 期					3 学 期				
		生徒指導	ルールを守り、いここちのよい学級・学校					いいと思ったことを自分からチャレンジ					成長の自覚と次へのステップアップ			4段階でのA評価	
			・学級での居場所をつくる ・「みんなの約束」「あさごはん」「学習ルール」を守る ・自他のかかやき（よさ）を見つける					・授業や学年、学級行事を通して、個や集団のよさを発揮する ・学級の仲間を大切に思い、温かく受け入れられ雰囲気をつくる					・次の学年をイメージして、それに向けての一步を踏み出す ・成長を支えてくれた人・場所・物に感謝の気持ち、表現する				
			よさを見つけよう「宝探しの目」で かけよう「勇気づけのボイスシャワー」														
		学 び づくり	対話の仕方を身に付けよう					対話の仕方を充実させよう					対話をして自分たちで課題を解決しよう			授業がわかる60%	
			・対話（つなげる・深める）の仕方を知る ・聞く、話すの基本を身につける ・自分の考えをもつ					・対話（友達に発言につなげる・自分の考えを深める）を充実させていく					・対話（友達に発言につなげる・自分の考えを深める）を通して、自分たちで課題を解決していく				
		校内研修	研究主題 子供自身が学びを実感する授業 ～教師が子供の学びをコーディネートする授業～ (1)単元構想 ・「何ができるようになるのか」の明確化 ・単元を貫く「見方・考え方」 ・カリキュラムマネジメント ・子供の具体的な姿の構想 (2)問題と評価の一体化 ・授業における評価の明確化 ・「見方・考え方」の教師と児童の共有 ・「見方・考え方」を働かせる学習問題の設定 ・はばたき学習（学級総合）の年間計画作成 ・算数科の授業研究（全教員の授業公開） ・学年部単位での研修推進 ・外部講師の招聘														信頼できる先生がいる70%
		仲 間 づくり	みんなが安心して自分から活動できる学級・学校づくり・・・気持ちいいあいさつ、思いやり、励まし合う仲間														白羽小の教育に満足60%
			自分から 相手を思う「あさしおごはん」（あさしお委員会を中心に） ・「はい」の返事 ・みんなできちんと「あいさつ」 ・一人一人のがんばりを認め合おう →安心して活動できる学級、仲間づくり ・・・かかやきいっぱい ・自分から相手を思う「あさしおごはん」 ・自分から、仲間と一緒に、もっとチャレンジしよう →安心、信頼できる仲間とともに主体的な行動を増やす ・・・かかやきいっぱい ・ありがとうの気持ちを表そう →一緒に過ごせた仲間、支えてくれた人のために行動「この仲間でよかった」「まだがんばろう」・・・かかやきいっぱい														
主要行事	・始業式 ・入学式 ・遠足	・浜の子運動会		・終業式	・始業式		・修学旅行		・浜の子発表会 ・野外学習	・始業式	・六送会	・修了式 ・卒業式	家庭や地域での挨拶55%				
教育方針 ① 授業で ② 学年・学級経営で ③ 行事、活動で 子どもの主体性を育てる																	

信頼される頼もしい職員集団となるための行動指針

【安心安全】危機管理、危険予知で学校への信頼を教育活動の安心安全を常に保ちます。

【人権尊重】勇気づけのボイスシャワーを注ぎ、愛情いっぱいの関わりをします。

【信頼関係】子どもの居場所となり、活動のエネルギー源となる学年学級づくりをします。

【自己研鑽】学びの実感がある授業づくりに向け、絶えず自己研鑽をします。

【責任協働】責任感と協働性を持ち、組織の一員として行動し、白羽小力を高めます。

【業務改善】小さなエネルギーで大きな効果を生む業務の改善を図ります。

【適正服務】子どもの手本となり、保護者・地域の信頼となる適正な服務・勤務に努めます。

①タイムカードで勤務状況の把握

②支援員の効果的配置と活用

③ICTの効果的な導入と活用

④見通しを持った業務の運行

⑤できることから改善・削減